



図書館では、本の貸し出しなどを体験(写真は、多田恵梨香さん撮影)

将来の夢へ 第一歩

石鳥谷中学校生徒数495人の2年生163人が、7月27日と28日の両日、石鳥谷地域を中心に、市内42カ所の事業所で職場体験学習を行いました。同校では、職場体験学習を進路指導の一環として毎年実施しています。生徒たちは、将来の就職を考えて体験学習する職場を選びました。石鳥谷総合支所では、多田恵梨香さんが職員の指導を受けて、広報の取材や記事の作成などに取り組みました。慣れない環境の中で与えられた仕事に一生懸命取り組んだ皆さん。働くことの大変さや喜びを感じながら、将来への夢を広げました。



大人顔負けのスイングを披露する花巻ジュニア・スウィング・オーケストラの皆さん



「ヒューン・ドーン」。夏の夕暮れ時に大輪を咲かせる打ち上げ花火

感動と興奮のひととき

田瀬湖水まつり、水空中花火大会は7月30日、田瀬湖あやめ苑下特設会場で行われました。大会のオープニングを飾ったのは田瀬中学校生徒による、清流田瀬太鼓と小学生によるジャズバンド、花巻ジュニア・スウィング・オーケストラ。力強く、リズムミカールな演奏は、たそがれ時の会場を大いに盛り上げました。大音響とともに始まった花火大会は5部構成。夏の夜空と雄大な湖面に色鮮やかに花開く5500発余りの花火に、会場には大きな歓声が広がりました。胸の奥に響く花火の音は、会場の皆さんにすてきな夏の思い出をつくりました。

東和 地域スポット

編 まちに響くまつりばやし 土沢まつり

土沢地区では、鍋八幡神社の例大祭「土沢まつり」が行われます。

土沢まつりは、正徳元年(1711年)に、鍋八幡神社の建て直しを祝い、神輿を担いで練り歩いたものが、地域の秋まつりとして定着したものです。今では山車も参加し、神輿、鹿踊りの群舞などで、商店街は活気にあふれます。今年は、新市誕生を記念したイベントなども考えながら、準備を進めているところです。

皆さんも、秋を彩る土沢まつりのにぎわいを満喫しに出かけませんか。

▶期間 9月16日(土)~17日(日)

▶場所 土沢商店街

詳しくは、東和商工会(☎42-3155)へ。



山車や神輿が練り歩き、まちが華やかににぎわいます



先に泣き出した方が負けとなる泣き相撲

秋の奇祭 十二番泣き相撲

北成島地区の三熊野神社・成島毘沙門堂では、1200年の歴史を誇る奇祭「十二番泣き相撲」が、神社の例大祭に併せて行われます。

5月の連休に行われる「全国泣き相撲大会」は、全国各地から、男女を問わずに参加できる春場所として行われますが、「十二番泣き相撲」は、地元の子もただけが出場して行われる伝統行事。南・北成島地区の、満1歳の長男それぞれ6人の子もたちが出場し、古くからのしきたりを重んじて行われ、その年の豊穡を占

い、後継者の安泰を祈願します。

脈々と受け継がれてきた「十二番泣き相撲」に、皆さんも足を運んでみませんか。

▶日時 9月19日(火) 午前11時~

▶場所 三熊野神社・成島毘沙門堂

詳しくは、毘沙門総合管理組合(☎42-3921)へ。

目指せ ナンバー1!

8月3日、子どもチャレングランピング大会が大迫体育館で行われました。大会には、大迫地域の小学生約30人が参加。それぞれのゲームでチャンピオンを目指しました。子どもたちがチャレンジしたのは、フリークライミングや1分間ドリブルなど。うきうきが20秒走など5種目。フリークライミングでは、登った高さ怖くなると断念する子どももいる一方、9秒を超え高さまで登る子どももいました。真剣な中にも笑顔がこぼれる子どもたち。思い思いに楽しい夏休みの一日を過ごしました。



大きなボールで1分間ドリブルに挑戦。「けっこう難しい…」



力いっぱいプレーする子どもたち。大人顔負けの迫力があります

もっともっとうまくなりたい!

「2006はなまきジュニアサッカーキャンプ」が7月16日から17日までの2日間、スポーツキャンパむらで開かれました。県内外から参加した小学生16チームは、天然芝の感触を味わいながら熱戦を展開。積極的なボールを追いかけ、緑まぶしいグラウンドを縦横無尽に駆け巡りました。交流試合を通して、お互いの競技力を高め合いながら、友情を深めた選手たち。チーム同士の交流の輪も大きく広がりました。